

# クリーンセンター建設に向けて

クリーンセンター建設には、みなさんのご理解とご協力が不可欠です。  
今月号では、7月10日におこなわれた第3回清掃センター建設審議会の内容とクリーンセンターについてのQ&Aを紹介します。

## 第3回清掃センター建設審議会【7月10日(金)】では、次の2か所の先進地を視察しました。

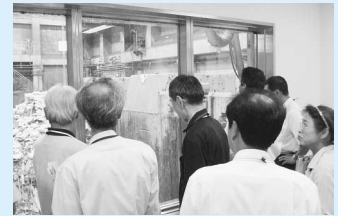
### ●クリーンセンターかしはら(奈良県橿原市)

施設の稼働日は、平成15年9月末であり、同一敷地に再建築されたクリーンセンターです。周辺は、自然環境保全条例に基づく景観保全地区に指定されているため、地下3階地上4階建てとし、施設の高さに配慮された施設となっています。

また、集落と隣接していますが、臭いなどが周辺に漏れないように、エアカーテンや自動扉などを設置しており、これまで苦情などは特に寄せられていないとのことでした。

#### クリーンセンターかしはらの概要

敷地面積：約27,000㎡ 建築面積：約6,200㎡  
施設規模：処理方式…ストーカ式焼却炉  
ごみ処理施設…85 t / 24時間×3炉(255 t / 24時間)  
灰溶融炉…40 t / 24時間×2炉



### ●クリーンセンター第2工場(兵庫県尼崎市)

施設の稼働日は、平成17年3月であり、海に隣接して建設された施設です。周辺には集落はありませんが、民間の油槽所があるため、安全対策に配慮された施設です。また、1日に300台のパッカー車が一度に並んでも、周辺道路が渋滞することのないよう、敷地内の搬入路が長く設計されています。

#### クリーンセンター第2工場の概要

敷地面積：約33,700㎡ 建築面積：約15,100㎡  
施設規模：処理方式…ストーカ式焼却炉  
ごみ処理施設…240 t / 24時間×2炉(480 t / 24時間)  
灰溶融炉…73 t / 24時間×2炉



## ■ クリーンセンターQ&A ■

### Q. どうしたら可燃ごみが減量できますか？

A. 家庭で生ごみを減らすためには、いうまでもなく食材を使い切り、食べ残しを出さない、無駄な買い物をしていないことです。賞味期限と消費期限をしっかりと使い分け、食品の無駄をなくしましょう。生ごみ処理機なども減量化の有効な取り組みの一つです。補助制度もありますので活用ください。それでもなお残る生ごみは、きちんと水切りをおこなってください。また可燃ごみを調査すると約40%が紙ごみです。古紙類はリサイクルできますので、古紙回収にご協力ください。

### Q. なぜ、クリーンセンターが必要なの？

A. 日本における一般廃棄物の処理事業は各市町村で実施され、主に焼却処分されています。焼却処分のメリットは、①減量・減溶化効果が高い、②灰となるので無機化による有機性水質汚染防止・悪臭防止・衛生害虫発生防止などの効果が高い、③焼却することで病原菌などの滅菌効果が高い、④処理システムがシンプルで事業効率が高いなどの理由があります。焼却することで、腐る心配のない灰だけが残ります。衛生的であるうえに、もとの生ごみと比べても重さも約10分の1、かさでは約20分の1となり、埋立処分場の負担を軽減できます。

問合せ まち美化推進課 清掃センター推進室  
☎75-1215 Fax72-3900  
E-mail: clean-center@city.kizugawa.lg.jp